

# 川上から川下まで一貫体制で顧客の注文に柔軟に対応

## 資源・資材の発掘戦略

### サプライチェーンの再構築

木脇産業(宮崎県都城市、木脇桂太郎社長)は、グループで素材生産、素材販売、製材、建材・設備販売、プレカット、防蟻防蟻処理、チップ製造・販売、木材輸送を手掛ける。年間原木取扱量は21万立方尺規模で、川上から川下まで一貫体制を構築していることに強みを持つ。今後とも規模の取り扱いは継続していく方針だ。木脇社長は「川上は山を育てることが基本となる。将来的に造林事業も手掛け、当グループが使う丸太を育てていける体制を整えていきたい」と話す。

## 木脇産業



同社工場

同グループの売上高は約80億円、従業員数は260人だ。将来には乾燥設備を増やし、南九州のバイオマス100億円を目指し、ス発電所や製紙工場に販売している。年間原木取扱量は21万立方尺のうち、材加工が12万立方尺、他社メーカーや原核に、木脇産業(同、木市場の原木販売が4山下史洋社長)、都城

地区プレカット事業協し柔軟かつ迅速に対応することが可能である。同組合(同、木脇章太朗代表理事)、万ヶ塚運送(同、木脇桂太郎社長)、ウエルネス急行(同)、マルキ運輸(同、丸太の市、同)が構成される。国有林の伐採を請負も含め、年間2万立方尺程度を生産する。



選別機と原木土場。A、B、C材に仕分けしている

木脇産業及び原木市場、製材所まで丸太を搬出することが可能。顧客から「機動性がある」という評価を得ている。ウエルネス急行は南九州地域で木材チップの運搬を行う。製材品生産量は6万立方尺程度で、柱や通などが可能になり、牛舎や保育園、学校、アパートなど非住宅の受注増に注力している。



木脇産業及び原木市場、製材所まで丸太を搬出することが可能。顧客から「機動性がある」という評価を得ている。ウエルネス急行は南九州地域で木材チップの運搬を行う。製材品生産量は6万立方尺程度で、柱や通などが可能になり、牛舎や保育園、学校、アパートなど非住宅の受注増に注力している。

## 将来的に自社で造林を手掛けられる体制を目指す

将来的に自社で造林を手掛けられる体制を目指す。顧客の注文に対応し、伐採現場からプレカットへの小売りができる。顧客の注文に対応し、伐採現場からプレカットへの小売りができる。顧客の注文に対応し、伐採現場からプレカットへの小売りができる。

将来的に自社で造林を手掛けられる体制を目指す。顧客の注文に対応し、伐採現場からプレカットへの小売りができる。顧客の注文に対応し、伐採現場からプレカットへの小売りができる。顧客の注文に対応し、伐採現場からプレカットへの小売りができる。

将来的に自社で造林を手掛けられる体制を目指す。顧客の注文に対応し、伐採現場からプレカットへの小売りができる。顧客の注文に対応し、伐採現場からプレカットへの小売りができる。顧客の注文に対応し、伐採現場からプレカットへの小売りができる。

## 特定苗木の植栽を山形県から開始

### 原木の山土場滞留対策など推進

東北森林局・25年度重点取組事項



2025年度の重点取組事項について説明する大政局長

東北森林管理局長(大政康史)は15日、2025年度の重点取組事項に関する記者会見を行った。見を開いた。拡充事業として再造林の推進と病虫害対策、継続事業として国産材の安定供給体制の構築に向けた貢献を推進する。再造林の推進では、山形県で特定苗木の供給が始まったことを受け、同局では初めて同県内の国有林に、25年度は約5万8000本の杉を植栽予定(山形県内の杉植栽予定の2割)。特定苗木は特定母樹から採取された種穂から育成された苗木で、いわゆる「花粉の少ない苗木」に比べる。花粉量は多いものの、生い茂る、生かすような実用性を兼ね備えている。来年度から他県でも植栽を開始できる見込み。また、花の少ない苗木の使用も拡大し、25年度は総計で70万3000本(前年度比20%増)、346本が削減された。同局管内のナラ枯

## 木製ノベルティ事業を開始

フルタニランバー(石川県金沢市、古谷隆明社長)は17日から、木製ノベルティ事業「KITTY(キルティ)」を開始した。木を使った販促品やノベルティ



ノベルティの二つのクリアファイル

最近、木を使ったノベルティを製作する企業が増えているが、製作を依頼する窓口に問い合わせると、口探しに難儀するケースがある。また、能登半島地震から1年以上経過後、被災した住宅の解体も少しずつ進んでいる。その際に発生する解体材や古材を小物にして、旧宅の思い出を小さくても手元に残しておきたいという要望も出てくる。同社では、国内外のさまざまな樹種を取り扱っており、木工業者との取引も多い。こうしたつながりを生かして、法人や個人問わず小ロットの注文でも対応する。公式ホームページでは、主に箸やタンブラー、クリアファイル、モクリルスタンド、アロマフックなどを挙げているが、それ以外の製品の要望にも柔軟に対応していく方針だ。

東日本で宅需要の減少で解体

チップでの受け入れ量

関東のチップ

の定修で一定期間チップ